



水の文化 雪の

恵み



- 媚山政良「克雪から利雪へ」
- 伊藤親臣「雪室と雪だるま財団」
- 山田正人「利雪の家」
- 土橋健介「日本の雪道とスタッドレスタイヤ」
- 照井吉仁「水神様を祀るかまくら」
- 齊藤洋平「札幌市と歩んださっぽろ雪まつり」
- 今井啓二「世界冬の都市市長会」
- 関由有子「日本一の雁木通り」
- 古賀邦雄 水の文化書誌「雪国の生活をたどる」
- 鳥越皓之 わたしの里川「里の水音 川それぞれ」
- 坂本貴啓 「Go! Go! 109水系 山懐に抱かれた 米代川」

水の文化 October 2013 No. **45**

水の文化
2013
45



ミツカン水の文化センター

表紙上：どこからどこまでが誰の土地かわからない、新潟県上越市の田んぼ。汚れなき雪に、一筋の足跡。美しいものはやはり人を感動させる。雪が持つ潜在力を発掘して、恵みに転じることができたら何よりだ。

表紙下：秋田・横手のかまくら。寒くて暗い冬だからこそ、寄り添って明かりを囲むひとときが有り難い。

裏表紙上：2月の上越市安塚区の除雪風景。莫大な降雪に見舞われる特別豪雪地帯の安塚だが、この雪を資源に変えようという新しい取り組みが始まっている。

裏表紙下：大地主の川上善兵衛は、農民救済のために荒地でも育つブドウに着目。1890年（明治23）現在の越前市に岩の原葡萄園を創業し、ワインの醸造方法と品種改良に工夫を凝らし、日本ワイン製造の礎を築いた。写真左から、当時としてはきわめて珍しい低温発酵を可能にした二号石蔵（1898年〈明治31〉）のエントランス／雪室貯蔵の伝統を近代的なシステムにも受け継いでいる／二号石蔵は2005年（平成17）に復刻され、現役で稼働中。雪室の様子を覗く窓が壁に設けられている。

